

岡山大学病院麻酔科専門研修プログラム

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中治療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する。

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは、人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え、生体の侵襲行為である手術が可能なように管理する生体管理医学である。麻酔科専門医は、国民が安心して手術を受けられるように、手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う、患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に、関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも、生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

- 本研修プログラムは専門研修基幹施設である岡山大学病院を中心とするローテーションを組むことにより、4年間で十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する事はもちろん、さらには将来的な大学院進学、海外・国内留学、サブスペシャリティー（集中治療、ペインクリニック、救急、臓器移植の周術期管理や小児心臓手術の麻酔・周術期管理など）の獲得をサポートすることを目的とする。
- 本研修プログラムは約40施設が連携することにより、専攻医が様々な地域において、十分な指導体制のもとで多種多様な症例を経験でき、整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる。
- 中四国地方を中心に、関東、関西など全国各地にある連携施設での研修が可能で、各地域での中核病院での研修と大学病院での研修を組み合わせることができる。
- 大学病院を中心としたローテーションの中で、早期より研究や学会活動に触れる機会を多く設け、リサーチマインドを持った医師を育成する。
- 定期的な抄読会、症例検討会、カンファレンスを開催し、知識の裏付けのある

臨床を実践できる医師を育成する。

- 岡山大学病院を中心にプログラム全体の専攻医が参加できる勉強会を随時開催し、新しい知識を得るとともに専攻医同士が情報交換できる機会を設ける。
- 麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている。

3. 専門研修プログラムの運営方針

- 研修4年間のうちの1年間は（最短でも6か月間）専門研修基幹施設である岡山大学病院での研修を行うこととする。希望者には専門研修連携施設Aでは最大で3.5年間、専門研修連携施設Bでは最大で2年間の研修を認める。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。
- すべての領域を満遍なく回るローテーションを基本とするが、小児診療を中心に学びたい者へのローテーション、ペインクリニックを学びたい者へのローテーション、集中治療を中心に学びたい者へのローテーション、大学院進学を組み合わせたローテーションなど、専攻医のキャリアプランに合わせたローテーションも考慮する。
- 大学院進学と組み合わせた研修を可能とし、希望者には専門医と並行して、学位取得も目標とするローテーションを組む。

研修実施計画例

	A	B	C	D
初年度 前期	本院	初期研修を行った 地域の拠点病院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）
初年度 後期	本院	初期研修を行った 地域の拠点病院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）
2年度 前期	心臓麻酔の研 修が可能な病 院	本院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）
2年度 後期	心臓麻酔の研 修が可能な病 院	本院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）
3年度 前期	心臓麻酔の研 修が可能な病 院	心臓麻酔の研修が 可能な病院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院）

3年度 後期	小児の研修が 可能な病院	心臓麻酔の研修が 可能な病院	満遍なく症例を経 験できる総合病院	本院（大学院・学位 取得）
4年度 前期	小児の研修が 可能な病院	小児の研修が可能 な病院	本院（大学院進学）	総合病院
4年度 後期	本院（ペインま たは集中治療、 移植手術や小 児心臓手術な どの特殊麻酔 の研修，大学院 進学準備）	小児の研修が可能 な病院	本院（大学院進学）	総合病院

週間予定表

本院麻酔ローテーションの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
午後	手術室	術前外来	手術室	休み	手術室	休み	休み
当直			当直				

4. 研修施設の指導体制

① 専門研修基幹施設

岡山大学病院 （以下，岡山大学本院）

研修実施責任者：森松 博史

専門研修指導医：森松 博史（麻酔，集中治療）

岩崎 達雄（麻酔，集中治療）

小林 求（麻酔，集中治療）

賀来 隆治（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

谷西 秀紀（麻酔，集中治療）

清水 一好（麻酔，集中治療）

松岡 義和（麻酔，集中治療）

松崎 孝（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

谷口 新（麻酔，集中治療）

金澤 伴幸（麻酔，集中治療）
 鈴木 聡（麻酔，集中治療）
 谷 真規子（麻酔，集中治療，医学教育）
 小坂 順子（麻酔，集中治療）
 黒田 浩佐（麻酔，集中治療）
 中村 龍（麻酔，集中治療）
 荒川 恭佑（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
 岡原 修司（麻酔，集中治療）
 岡崎 信樹（麻酔，集中治療）
 木村 聡（麻酔，集中治療）
 清水 達彦（麻酔，集中治療）
 片山 明（麻酔，集中治療）
 武藤 典子（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
 依田 智美（麻酔，集中治療）
 専門医：佐倉 考信（麻酔，集中治療）
 妹尾 悠祐（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
 成谷 俊輝（麻酔，集中治療）

認定病院番号:23

特徴：小児心臓手術や臓器移植手術（心，肺，肝，腎）などの高度先進医療に加えて，小児麻酔，食道手術や呼吸器外科手術における分離肺換気など特殊麻酔症例も数多く経験できる．また麻酔のみならず，小児を含む集中治療（30床），ペインクリニックの研修も可能である．また周術期管理センターが確立しており，多職種による周術期チーム医療システムを学ぶこともできる．

② 専門研修連携施設A

岡山済生会総合病院

研修実施責任者：難波 研二
 専門研修指導医：小林 洋二（麻酔）
 水川 俊一（麻酔，集中治療）
 馬場 三和（麻酔，ペインクリニック）
 物部 容子（麻酔）
 難波 研二（麻酔）
 三好 亜希子（麻酔）
 門田 奈実（麻酔）

伏見 美紀（麻酔）

赤木 洋介（麻酔）

認定病院番号:657

特徴：集中治療のローテーション可能（日本集中治療医学会専門医研修施設）

岡山市立市民病院

研修実施責任者：藤井 洋泉

専門研修指導医：藤井 洋泉（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

渡邊 陽子（麻酔，集中治療）

中村 龍（麻酔，集中治療）

大谷 晋吉（麻酔，集中治療）

河野 圭史（麻酔，集中治療）

福永 彩子（麻酔）

藤村 友（麻酔，集中治療）

認定病院番号:662

特徴：日本専門医機構集中治療科専門研修施設です。また，ペインクリニック外来を週3日開設しており，日本ペインクリニック学会指定研修施設です。

岡山赤十字病院

研修実施責任者：奥 格

専門研修指導医：奥 格（麻酔，集中治療）

福島 臣啓（麻酔，ペインクリニック）

實金 健（麻酔，救急医療）

小林 浩之（麻酔，ペインクリニック）

岩崎 衣津（麻酔，集中治療）

石井 瑞恵（麻酔，ペインクリニック）

三枝 秀幸（麻酔，救急医療）

専門医：石川 友規（麻酔，集中治療）

和田 浩太郎（麻酔，集中治療）

赤澤 杏奈（麻酔，集中治療）

認定病院番号:365

特徴：集中治療のローテーション可能

ペインクリニックの研修可能

岡山労災病院

研修実施責任者：齋藤 智彦

専門研修指導医：齋藤 智彦（麻酔）

大森 恵（麻酔）

岡崎 信樹（麻酔）

篠井 尚子（麻酔，集中治療）

村上 史高（麻酔）

西谷 恭子（麻酔）

認定病院番号：528

特徴：当院外科系診療科の麻酔管理をバランスよく経験できるとともに，当院の特徴である悪性中皮腫に対する胸膜剥皮術や小児の先天性側弯症などの手術に対する麻酔管理を経験することが可能．

津山中央病院

研修実施責任者：萩岡 信吾

専門研修指導医：萩岡 信吾（麻酔，集中治療）

杉山 雅俊（麻酔，ペインクリニック）

川西 進（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

前山 博輝（救急，集中治療）

専門医：仲原 隆弘（麻酔，集中治療）

認定病院番号：921

特徴：集中治療， 救急ローテーション可能

竜操整形外科病院

研修実施責任者：松三 昌樹

専門研修指導医：松三 昌樹（麻酔）

高田 研（麻酔）

特徴：整形外科全般の手術の麻酔（老人麻酔），周術期管理

認定病院番号：1492

国立病院機構 岡山医療センター

研修実施責任者：野上 悟史

専門研修指導医：野上 悟史（麻酔）

西村 裕子（麻醉）
檀浦 徹也（麻醉）
谷岡 野人（麻醉）
山之井 智子（麻醉）
篠井 尚子（麻醉，集中治療）

専門医：西 公香（麻醉）

認定病院番号：96

川崎医科大学総合医療センター

研修実施責任者：大橋 一郎

専門研修指導医：大橋 一郎（麻醉，集中治療，区域麻醉）

片山 浩（麻醉，集中治療，血液浄化）

落合 陽子（麻醉，集中治療，心臓麻醉）

林 真雄（麻醉，集中治療）

日根野谷 一（麻醉，集中治療）

専門医：川口 勝久（麻醉，集中治療，心臓麻醉）

吉田 悠紀子（麻醉，集中治療，区域麻醉）

池本 直人（麻醉，集中治療，区域麻醉）

住谷 絵未里（麻醉，集中治療，心臓麻醉）

認定病院番号：211

特徴：ICU 12床とHCU12床を備えており，外科系内科系重症患者および救急患者に対しても介入しており，一貫した全身管理を学ぶことが出来る．

川崎医科大学附属病院

研修実施責任者：戸田 雄一郎

専門研修指導医：中塚 秀輝（麻醉，ペインクリニック）

戸田 雄一郎（麻醉，集中治療）

佐藤 健治（麻醉，ペインクリニック）

前島 亨一郎（麻醉，集中治療）

西江 宏行（麻醉，ペインクリニック）

谷野 雅昭（麻醉，集中治療）

櫻井 由佳（麻醉，集中治療）

山本 雅子（麻醉，ペインクリニック）

川上 朋子（麻醉）

葉山 智子（麻酔）
池田 翼（麻酔，緩和医療）
専門医：作田 由香（麻酔，ペインクリニック）
城戸 悦子（麻酔）
福永 彩子（麻酔，集中治療）
日野 佳恵（麻酔，集中治療）
榎田 佳奈（麻酔）

認定病院番号 77

特徴：心臓血管手術，脳神経外科手術，呼吸器外科手術，腹腔鏡下手術，婦人科手術など，幅広い症例を研修することができる．救急に力を入れている病院であり，緊急症例の麻酔管理なども経験できる．また，ICU も麻酔科が管理しており，集中治療の研修も充分行える．ペインクリニック外来，緩和医療，無痛分娩などの研修も可能である．

一般財団法人 倉敷成人病センター

研修実施責任者：楠戸 和仁
専門研修指導医：楠戸 和仁（麻酔，集中治療）
岡田 昌平（麻酔，ペインクリニック）
藤井 美江（麻酔）
郷原 徹（麻酔，集中治療）
小野 和身（麻酔，集中治療）
岡田 朋子（麻酔）
専門医：木田 好美（麻酔，集中治療）

認定病院番号 643

特徴：婦人科腹腔鏡手術では世界的に有名な病院．

婦人科，泌尿器科のロボット手術も週 8 件以上あり，腹腔鏡手術の麻酔管理に精通できる．

香川県立中央病院

研修実施責任者：平崎 盟人
専門研修指導医：平崎 盟人（麻酔）
谷津 祐市（麻酔）
井上 一由（麻酔，集中治療）
大西 淳司（麻酔，集中治療）
小畑 ダニエル（麻酔，ペインクリニック）

大西 藍（麻醉）
専門医：松田 力也（麻醉）
鈴木 雅美（麻醉）
黒江 泰利（麻醉）

認定病院番号:150

特徴：集中治療の研修可能.

ペインクリニック/緩和ケアのローテーション可能.

香川労災病院

研修実施責任者：戸田 成志
専門研修指導医：戸田 成志（麻醉，救急，集中治療，ペインクリニック）
小野 潤二（麻醉）
鈴木 勉（麻醉，集中治療，ペインクリニック）
専門医：林 裕之（麻醉，集中治療，ペインクリニック）
林 久美子（麻醉，ペインクリニック）
合田 慶介（麻醉，集中治療）

認定病院番号:275

特徴：集中治療ローテーション可能，集中治療専門医取得可能.

ペインクリニックローテーション可能，ペインクリニック専門医取得可能.

国家公務員共済組合連合会 呉共済病院

研修実施責任者：東 龍哉
専門研修指導医：東 龍哉（麻醉，集中治療）
中村 公輔（麻醉，集中治療，ペインクリニック）
専門医：永田 紗弥子（麻醉，集中治療，ペインクリニック）
川久保 弥知（麻醉，集中治療，ペインクリニック）
大倉 靖子（麻醉，集中治療，ペインクリニック）

認定病院番号:290

特徴：地域医療支援病院，がん診療連携拠点病院，災害拠点病院であり，二次医療圏内で腎疾患診療が当院に集約されている.

尾道市立市民病院

研修実施責任者：突沖 満則

専門研修指導医：突沖 満則（麻醉）

川上 直哉（麻醉）

須江 宣俊（麻醉）

認定病院番号:878

特徴：地域の二次救急を担っており，緊急手術症例も多数あり．

福山市民病院

研修実施責任者：日高 秀邦

専門研修指導医：日高 秀邦（麻醉）

小山 祐介（麻醉，ペインクリニック）

安保 佳苗（麻醉，特に心臓血管麻醉）

石井 賢造（集中治療（専従））

荒井 麻耶（麻醉）

小坂 真子（麻醉，特に産科麻醉）

専門医：竹中 志穂（麻醉）

木村 貴一（麻醉，特に心臓血管麻醉）

認定病院番号:725

特徴：広い範囲の手術が行われており，専門医取得に必要な症例が全て経験可能です．当科は院内患者を対象としたClosedの12床の集中治療室の管理を担当しています．集中治療室は院内発生の重症患者や開心術，食道外科，呼吸器外科，肝胆膵外科，頭頸部などの大手術後の患者を診療しています．救急救命センターを併設しており，外傷患者の手術も経験できます．そちらのICU，HCUは専従の10名の救急科医師が管理しています．がん拠点病院でもあり，ペインクリニックはがん性疼痛を主に診療しています．

国立病院機構 福山医療センター

研修実施責任者：友塚 直人

専門研修指導医：友塚 直人（麻醉，集中治療，ペインクリニック）

高野 洋平（麻醉，集中治療）

吹田 晃享（麻醉，集中治療）

村上 裕亮（麻醉）

認定病院番号:734

特徴：小児，産科麻醉の症例が豊富です．日本集中治療医学会認定専門医研修施設に登録されており，集中治療専門医取得に向けての研修も可能です．

脳神経センター大田記念病院

研修実施責任者：田中 千春

専門研修指導医：田中 千春（麻酔）

渡邊 泰彦（麻酔）

認定病院番号：1457

特徴：当院は開院以来、脳神経疾患・脳血管疾患の診療に積極的に取り組んでいる。

脳神経外科の手術実施数は年間500件以上におよび、開頭手術症例も豊富である。

興生総合病院

研修実施責任者：河村 茂雄

専門研修指導医：河村 茂雄（麻酔）

専門医：進 吉彰（麻酔）

認定病院番号 490

特徴：集中治療のローテーション可能

ペインクリニックの研修可能

地域の災害拠点病院

広島市立広島市民病院

研修実施責任者：藤中 和三

専門研修指導医：藤中 和三（麻酔，集中治療，心臓血管麻酔）

市場 稔久（麻酔，救急）

大宮 浩輝（麻酔，心臓血管麻酔）

高田 由以子（麻酔）

後藤 隆司（麻酔，集中治療，心臓血管麻酔）

寺田 統子（麻酔，集中治療，心臓血管麻酔）

宮本 将（麻酔，集中治療，小児麻酔）

田窪 一誠（麻酔，集中治療，心臓血管麻酔）

橘 薫（麻酔，集中治療）

松本 森作（麻酔，集中治療，心臓血管麻酔）

木戸 浩司（麻酔，集中治療）

上野原 淳（麻酔，集中治療，心臓血管麻酔）

菊地 佳枝（麻酔）

石田 有美（麻酔）

羽間 恵太（麻酔，集中治療）
米澤 みほこ（麻酔，心臓血管麻酔）
専門医：武末 美幸（麻酔）
穴井 美穂（麻酔）
吉田 翼（麻酔）

認定病院番号170

特徴：小児心臓手術を含めた循環器疾患・各科がん手術・周産期症例が豊富で，手術症例数は中四国で一二を争う数です．ICUはクローズドで麻酔科医が主治医機能を持ち，主体的治療研修が可能です．救命センターにおける集中治療も行っており救急疾患経験も積めます．

神戸赤十字病院

研修実施責任者：溝上 良一
専門研修指導医：溝上 良一（麻酔，集中治療）
杉山 淳一（麻酔，救急）
熊田 雄太（麻酔，心臓血管麻酔）
専門医：植村 真弓（麻酔）

認定病院番号：1059

特徴：緊急手術，心臓血管手術の麻酔が多い．

姫路聖マリア病院

研修実施責任者：若林 隆信
専門研修指導医：若林 隆信（麻酔，集中治療，蘇生）
高橋 正裕（緩和，麻酔）

認定病院番号：1063

特徴：姫路市の中核病院で，ベッド数440床，重度身障者児施設80床を併設しています．消化器外科，整形外科，泌尿器科，産婦人科，耳鼻科，小児外科，形成外科の手術があり，硬膜外麻酔・神経ブロックを併用した全身麻酔を多く行っています．帝王切開は多数行われています．小児外科，形成外科，耳鼻科が乳幼児の手術を行っています．重度身障者児の入所施設があり，高度な気道・循環管理が要求されます．救急搬送を年間2500例受け入れており，ICUでは重症者術後管理，呼吸器・循環器救急の集中治療の症例を経験できます．

姫路赤十字病院

研修実施責任者：山岡 正和

専門研修指導医：山岡 正和（麻酔，集中治療）

岡部 大輔（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

南 絵里子（麻酔，集中治療，ペインクリニック）

西村 健吾（麻酔，集中治療）

小橋 真司（麻酔，ペインクリニック）

本庄 郁子（麻酔，ペインクリニック）

門馬 和枝（麻酔，ペインクリニック）

倉迫 敏明（麻酔）

認定病院番号：776

特徴：麻酔専門医取得のための特殊麻酔（小児，心臓血管外科，帝王切開など）の習得はもちろん，集中治療，ペインクリニック，緩和ケアまで専従して学べる体制を整えています。

住友別子病院

研修実施責任者：渡邊 興次

専門研修指導医：渡邊 興次（麻酔，ペインクリニック）

井石 貴子（麻酔）

麻酔科認定病院番号：465

特徴： 地域の中核病院であり、ハイリスク症例、高齢症例、緊急手術など多数経験できる

高知医療センター

研修実施責任者：鬼頭 英介

専門研修指導医：難波 健利（集中治療）

滝本 江里（麻酔）

鬼頭 英介（麻酔，集中治療）

濱田 暁（麻酔，集中治療）

濱口 英佑（麻酔，集中治療）

小川 達彦（麻酔，集中治療）

入江 直（麻酔）

専門医： 廣田 遥子（麻酔）

濱田 奈保（麻酔，集中治療）

石田 彩子（麻醉）

武市 桃子（麻醉）

認定病院番号：66

特徴：高知県の基幹病院。救命救急センター，がんセンター，周産期母子医療センター，循環器病センター併設。レパトリー豊富，症例数も多い。ICU管理も行っており，当院で集中治療専門医の取得可能。重症患者の管理，周術期の管理が可能。

医療法人新松田会 愛宕病院

研修実施責任者：武田 明雄

専門研修指導医：武田 明雄（麻醉）

佐藤 正樹（麻醉，ペインクリニック）

杉本 清治（麻醉）

専門医：松田 暁子（麻醉）

認定病院番号 1691

特徴：脊椎手術および脳神経外科手術の研修可能

社会医療法人近森会近森病院

研修実施責任者：杉本 健太郎

専門研修指導医：杉本 健太郎（麻醉，集中治療）

小坂 誠（麻醉，集中治療）

野島 宏悦（麻醉，集中治療）

中谷 真大（麻醉，集中治療）

上坪 知世（麻醉）

認定病院番号 413

特徴：心臓麻醉症例が豊富。

鳥取市立病院

研修実施責任者：樋口 智康

専門研修指導医：樋口 智康（麻醉，集中治療）

浅雄 保宏（麻醉，集中治療）

清水 貴志（麻醉，集中治療，救急）

認定病院番号：599

特徴：高齢者麻醉が多い。

島根大学医学部附属病院

研修実施責任者：二階 哲朗

専門研修指導医：二階 哲朗(麻酔, 集中治療, ペインクリニック, 緩和ケア)

豊田 浩作(麻酔)

三原 亨(集中治療)

本岡 明浩(麻酔)

太田 淳一(集中治療, 麻酔)

横井 信哉(麻酔)

橋本 愛(麻酔)

蓼沼 佐岐(麻酔, ペインクリニック, 緩和ケア)

森 英明(麻酔, 集中治療)

小笹 浩(麻酔)

片山 望(麻酔, 集中治療)

河原 卓美(集中治療)

田村 花子(麻酔, ペインクリニック, 緩和ケア)

青山 由紀(麻酔)

延原 英介(麻酔, 集中治療)

認定病院番号：202

特徴：麻酔管理では全ての特殊麻酔症例, 超音波ガイド下末梢神経ブロックを用いた症例, 高度先進医療であるロボット手術, 外傷センターを併設し緊急外傷手術などを多く経験できる。また, 集中治療, ペインクリニック, 緩和ケアも選択をすることが可能である。これらの領域を通して, 広く多面的に麻酔科学の基本である全身管理の専門的知識, 技能を習得できることが本施設の特徴である。

亀田総合病院

研修実施責任者：植田 健一

専門研修指導医：植田 健一(麻酔)

吉沼 裕美(麻酔, ペインクリニック)

室内 健志(麻酔, ペインクリニック)

篠川 美希(麻酔, ペインクリニック)

中澤 遥(麻酔)

林 淑朗(麻酔, 集中治療)

河野 宏之(麻酔)

柘植 雅嗣(麻酔)

竹原 由佳(麻酔)

劉 丹（麻醉）

加納 美咲（麻醉）

認定病院番号：367

特徴：千葉県南房総地区において中心的な役割を果たす施設。早くから米国式研修医システムを取り入れ、研修医を育てることを得意とする病院施設である。外科においては、心臓手術、呼吸器外科、食道外科をはじめとする高度医療から一般外科まで幅広く手術症例があり、年間1万例以上の手術件数を誇る。ペインクリニック認定施設でもあり、他に、当院にて集中治療、救急医療のローテーションも可能となっている。集中治療科は、クローズド・システムの内科・外科混合のICUを管理し、24時間365日シフト制で集中治療専門医の指導のもと診療にあたる。

国立がん研究センター中央病院

研修実施責任者：佐藤 哲文

専門研修指導医：佐藤 哲文（麻醉，集中治療）

松三 絢弥（麻醉，集中治療）

大額 明子（麻醉）

川口 洋佑（麻醉，集中治療）

大石 悠理（麻醉，集中治療）

日笠 友起子（麻醉，集中治療）

専門医：重松 美沙子（麻醉，集中治療）

浅越 佑太郎（麻醉，集中治療）

榎本 有希（麻醉，集中治療）

溝渕 有助（麻醉，集中治療）

高橋 裕明（麻醉，集中治療）

認定病院番号：43

特徴：がん治療・がん研究の拠点病院で、悪性腫瘍手術全般、特に胸部腹部外科手術の麻醉管理を研修することができる。集中治療の研修も可能である。

昭和大学病院

研修実施責任者：大江 克憲

専門研修指導医：大江 克憲（心臓麻醉）

加藤 里絵（産科麻醉，手術麻醉）

小谷 透（集中治療）

岡本 健一郎（緩和医療，ペインクリニック）

米良 仁志（ペインクリニック）
三浦 倫一（臨床麻酔）
増井 健一（静脈麻酔，ファーマコメトリクス）
尾頭 希代子（手術麻酔，心臓麻酔）
細川 幸希（産科麻酔）
高木 美沙（手術麻酔）
小林 玲音（ペインクリニック，手術麻酔）
西木戸 修（緩和医療，ペインクリニック）
庄野 敦子（集中治療）
市川 ゆき（集中治療）
田中 典子（区域麻酔）
樋口 慧（手術麻酔）
亀田 奈々（手術麻酔）
大杉 枝里子（手術麻酔）

認定病院番号:33

特徴：手術症例が豊富で専門医取得に必要な特殊症例を当施設で経験できます。手術麻酔に加えて集中治療，ペインクリニック，無痛分娩，緩和医療のアクティビティも高く，サブスペシャリティの研修も可能です。食道手術や肝臓手術の技量が高く，いわゆる大外科手術の麻酔経験を豊富に積めます。心臓血管外科は，成人と小児の両方を数多く行っており，最新のステンドやデバイスの手術も経験できます。超音波ガイド下抹消神経ブロックによる術中・術後鎮痛を積極的に行っています。多職種が参加する術前外来も開設しており，麻酔科医に必要な周術期管理をバランス良く学べます。

昭和大学横浜市北部病院

研修実施責任者：信太 賢治
専門研修指導医：信太 賢治（麻酔全般，ペインクリニック）
山田 新（麻酔全般）
木ノ内 万里子（麻酔全般）
坂本 篤紀（麻酔全般，心臓麻酔，小児麻酔）
山村 彩（麻酔全般）
釋尾 知春（麻酔全般，経食道心エコー）
高橋 健一（麻酔全般，心臓麻酔，小児麻酔）
栗倉 英恵（麻酔全般，小児麻酔）
大橋 みどり（麻酔全般）
木村 麻美（麻酔全般）

荘田 博朗（麻醉全般）

認定病院番号:928

特徴：手術麻醉では外科系各科のバランスのとれた豊富な症例数があるため、当院だけでも麻醉科専門医試験に必要な症例数を担当することができます。病院毎の手術症例の違いやサブスペシャリティ領域としての集中治療やペインクリニックの研修を含めて、昭和大学病院麻醉科を初めとした多彩な連携病院でオーダーメイドのローテーションを行います。

東京女子医科大学病院

研修実施責任者：長坂 安子

専門研修指導医：長坂 安子（麻醉）

黒川 智（麻醉）

尾崎 恭子（麻醉）

鈴木 康之（麻醉）

笹川 智貴（麻醉，ペインクリニック）

横川 すみれ（麻醉）

庄司 詩保子（麻醉，ペインクリニック）

土井 健司（麻醉）

石川 高 （麻醉）

古井 郁恵（麻醉）

山本 偉（麻醉）

森脇 翔太（麻醉）

武石 健太（麻醉）

中澤 莉沙（麻醉）

加賀屋 菜々（麻醉）

鈴木 真也（麻醉）

川本 英智（麻醉）

羽二生 顕（麻醉）

認定病院番号:32

特徴：豊富な症例数を背景として包括的な麻醉研修・ペインクリニック・緩和ケアの研修も可能です。心臓麻醉研修は特に力を入れており、心臓麻醉専門医の取得も可能です。多種の臓器移植（心臓・腎臓）や合併症（先天性心疾患等）妊娠の管理，エコーガイド下ブロック麻醉研修など様々なスペシャリティに対応します。

② 専門研修連携施設B

国立病院機構 岩国医療センター

研修実施責任者：上原 健司

専門研修指導医：上原 健司（麻酔，集中治療）

熊野 夏美（麻酔）

西 公香（麻酔）

認定病院番号：1343

特徴：救命救急センターを併設した地域医療の要となる病院であり，心臓血管麻酔の研修も可能である．

岡山旭東病院

研修実施責任者：安川 毅

専門研修指導医：安川 毅（麻酔，集中治療）

専門医：西田 静香（麻酔）

認定病院番号 1461

特徴：脳神経外科麻酔， 整形外科麻酔（神経ブロック）

総合病院岡山協立病院

研修実施責任者：坂下 臣吾

専門研修指導医：坂下 臣吾（麻酔）

認定病院番号：621

特徴：集中治療のローテーション可能．

緩和ケアのローテーション可能．

救急部のローテーション可能．

高砂市民病院

研修実施責任者：築地 崇

専門研修指導医：築地 崇（麻酔）

認定病院番号：1172

特徴：末梢神経ブロック(特に四肢、腹壁)を多数経験できる（8割以上の症例で末梢神経ブロックを併用）．

静岡県立静岡がんセンター

研修実施責任者：玉井 直

専門研修指導医：玉井 直（麻酔，集中治療）

安藤 憲興（麻酔，集中治療）

江間 義朗（麻酔，ペインクリニック）

朝倉 雄介（麻酔）

靱山 幸紀（麻酔）

小石川 亜矢（麻酔）

山下 麻子（麻酔）

松井 智子（麻酔）

井出 利恵（麻酔）

専門医：遠藤 正宏（麻酔）

田中 千晶（麻酔）

認定病院番号：972

特徴：がん全般の手術

ダヴィンチ手術（直腸，前立腺・腎，胃，子宮，肺・縦郭）週14件以上

胸部外科（肺・縦郭・食道）週10件程度

開頭術週2件程度

公立学校共済組合 中国中央病院

研修実施責任者：坂野 成宏

専門研修指導医：坂野 成宏（麻酔）

認定病院番号：1034

特徴：胸部外科手術と帝王切開の麻酔は豊富です。

5. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は，日本専門医機構に定められた方法により，期限までに（2021年9月ごろを予定）志望の研修プログラムに応募する。

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは，岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学講座ホームページ上の岡山大学病院麻酔科専門研修プログラムページ，電話，e-mail，郵送のいずれの方法でも可能である。

岡山大学病院 麻酔科蘇生科 医局長 清水 一好

岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

TEL 086-235-7778

E-mail okamasui@okayama-u.ac.jp

Website <http://www.okadaimasui.com/jp/>

6. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

① 専門研修で得られる成果（アウトカム）

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は、4年間の専門研修を修了することで、安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し、国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる。具体的には、専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技能
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学に則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後には、大学院への進学やサブスペシャリティー領域の専門研修を開始する準備も整っており、専門医取得後もシームレスに次の段階に進み、個々のスキルアップを図ることが出来る。

② 麻酔科専門研修の到達目標

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために、研修期間中に別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた専門知識、専門技能、学問的姿勢、医師としての倫理性と社会性に関する到達目標を達成する。

③ **麻酔科専門研修の経験目標** 研修期間中に専門医としての十分な知識、技能、態度を備えるために、別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた経験すべき疾患・病態、経験すべき診療・検査、経験すべき麻酔症例、学術活動の経験目標を達成する。

このうちの経験症例に関して、原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが、地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り、研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒後臨床研修期間に経験した症例のうち、専門研修指導医が指導した症例に限っては、専門研修の経験症例数として数えることができる。

7. 専門研修方法

別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた 1) 臨床現場での学習, 2) 臨床現場を離れた学習, 3) 自己学習により, 専門医としてふさわしい水準の知識, 技能, 態度を修得する.

8. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って, 下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する.

専門研修 1 年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し, ASA-PS 分類 1 ～ 2 の患者の通常の定時手術に対して, 指導医の指導のもと, 安全に周術期管理を行うことができる.

専門研修 2 年目

1 年目で修得した技能, 知識をさらに発展させ, 全身状態の悪い ASA-PS 分類 3 の患者の周術期管理や ASA-PS 分類 1 ～ 2 の緊急手術の周術期管理を, 指導医の指導のもと, 安全に行うことができる.

専門研修 3 年目

心臓外科手術, 胸部外科手術, 脳神経外科手術, 帝王切開手術, 小児手術などを経験し, さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと, 安全に行うことができる. また, ペインクリニック, 集中治療, 救急医療など関連領域の臨床に携わり, 知識・技能を修得する.

専門研修 4 年目

3 年目の経験をさらに発展させ, さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる. 基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが, 難易度の高い症例, 緊急時などは適切に上級医をコールして, 患者の安全を守ることができる.

9. 専門研修の評価（自己評価と他者評価）

① 形成的評価

- 研修実績記録：専攻医は毎研修年次末に, **専攻医研修実績記録フォーマット**を用いて自らの研修実績を記録する. 研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される.
- 専門研修指導医による評価とフィードバック：研修実績記録に基づき, 専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し, **研修実績および到達度評価表, 指導記録フォーマット**によるフィードバック

を行う。研修プログラム管理委員会は、各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し、専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる。

② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において、専門研修4年次の最終月に、**専攻医研修実績フォーマット**、**研修実績および到達度評価表**、**指導記録フォーマット**をもとに、研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて、各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識、②専門技能、③医師として備えるべき学問的姿勢、倫理性、社会性、適性等を修得したかを総合的に評価し、専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する。

10. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標、経験すべき症例数を達成し、知識、技能、態度が専門医にふさわしい水準にあるかどうか修了要件である。各施設の研修実施責任者が集まる研修プログラム管理委員会において、研修期間中に行われた形成的評価、総括的評価を元に修了判定が行われる。

11. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は、毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い、研修プログラム管理委員会に提出する。評価を行ったことで、専攻医が不利益を被らないように、研修プログラム統括責任者は、専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある。

研修プログラム統括管理者は、この評価に基づいて、すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために、自律的に研修プログラムの改善を行う義務を有する。

12. 専門研修の休止・中断、研修プログラムの移動

① 専門研修の休止

- ・ 専攻医本人の申し出に基づき、研修プログラム管理委員会が判断を行う。
- ・ 出産あるいは疾病などに伴う通算6ヶ月以内の休止は研修期間に含まれる。
- ・ 妊娠・出産・育児・介護・長期療養・留学・大学院進学など正当な理由がある場合は、連続して2年迄休止を認めることとする。休止期間は研修期間に含まれない。研修プログラムの休止回数に制限はなく、休止期間が連続して2年を越えていなければ、それまでの研修期間はすべて認められ、通算して4年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす。
- ・ 2年を越えて研修プログラムを休止した場合は、それまでの研修期間は認められない。ただし、地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については、卒後に

課せられた義務を果たすために特例扱いとし2年以上の休止を認める可能性がある。

② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は、研修プログラム管理委員会を通じて日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする。
- 専門研修の中断については、専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判断した場合、研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる。

③ 研修プログラムの移動

- 専攻医は、やむを得ない場合、研修期間中に研修プログラムを移動することができる。その際は移動元、移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて、日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある。麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める。

13. 地域医療への対応

本研修プログラムの連携施設には、地域医療の中核病院として広島市立広島市民病院、福山市民病院、津山中央病院など幅広い連携施設が入っている。医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し、適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため、専攻医は、大病院だけでなく、地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い、当該地域における麻酔診療のニーズを理解する。

14. 専攻医の就業環境の整備機能(労務管理)

研修期間中に常勤として在籍する研修施設の就業規則に基づき就業することとなる。専攻医の就業環境に関して、各研修施設は労働基準法や医療法を順守することを原則とする。プログラム統括責任者および各施設の研修責任者は専攻医の適切な労働環境(設備、労働時間、当直回数、勤務条件、給与なども含む)の整備に努めるとともに、心身の健康維持に配慮する。

年次評価を行う際、専攻医および専門研修指導医は研修施設に対する評価(Evaluation)も行い、その内容を専門研修プログラム管理委員会に報告する。就業環境に改善が必要であると判断した場合には、当該施設の施設長、研修責任者に文書で通達・指導する。

2023 年 6 月変更

- ・ 基幹施設での最短研修期間を変更
- ・ 専門研修連携施設（A）から（B）に変更：中国中央病院，福山医療センター
- ・ 専門研修連携施設から削除：三豊総合病院

2024 年 6 月変更

- ・ 専門研修連携施設（B）から（A）に変更：福山医療センター
- ・ 研修実施責任者変更：姫路聖マリア病院，姫路赤十字病院，東京女子医科大学病院

2025 年 7 月変更

- ・ 専門研修連携施設（A）から（B）に変更：岩国医療センター
- ・ 研修実施責任者変更：岡山市立市民病院，岡山労災病院，近森病院，鳥取市立病院，島根大学医学部附属病院，亀田総合病院，東京女子医科大学病院，総合病院岡山協立病院
- ・ 専門研修連携施設から削除：日本赤十字社医療センター，総合病院三原赤十字病院